

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		しゃべりば				公表日	2026年2月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・目が行き届きしっかり見守り出来てる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	・完全なバリアフリー化はできていないが、注意書きや日頃の声掛けにより、段差等での転倒防止に努めている。	・所々、段差があり声掛け等を行い注意を払っている。改善するよう進めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、職員が交代で清掃・消毒を実施。 ・清掃手順書作成、手順書に基づいて清掃。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・更衣の際の個室を用意。個室にて、児童の個別面談や会話にも対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日の朝礼に加え、週に1度のミーティングを実施。 ・アプリの使用にて業務連絡も都度行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様向けの評価表を配布し、意向等を把握し業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・MTG、合同MTGを行って情報共有している。 ・MTG等で職員の意向を確認し、必要に応じて業務改善に取り組んでいる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・出来る限り参加している。 ・県社会福祉士協議会等の研修や内部研修を実施。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的にアセスメントを実施し、個別支援計画書の作成を行っている。 ・子供や保護者のニーズに寄り添っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	○	・個別支援計画書の原案作成後、策定会議を実施し共通理解を図った上で、計画の作成を行なっている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・作成後に朝礼・ミーティング等で職員へ周知。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	○	・事業所作成のアセスメントシートを活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域に基づき計画の作成を行っており、児童に合わせた項目の設定を行っている。具体的な支援内容も設定しており、周知している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・MTGにて実施。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・毎月のMTGにて、活動内容の検討を行い、月・日替わりでの活動プログラムの設定を行っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・計画をもとに、児童に合わせグループ分けや個別での療育活動実施。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・その日の活動の説明をしっかりとされる。 ・朝礼にて、その日の打ち合わせ、段取り・役割分担を行い児童用スケジュールボードへ記載。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	・支援終了後ではないが翌日の朝礼で振り返り等を実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・児童個別で支援記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	○	決められた期間内でモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・日替わりの活動にて支援の設定を行っている。地域のゴミ拾いなども実施し、ボランティア活動も率先して取り組んでいる。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・グループワーク実施。意見や発表の場の提供。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的に関催される会議に必要に応じて、各関係機関の招集を実施。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて、学校や保護者との連携を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・必要に応じて実施。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		社会福祉協議会などを通して、研修の機会が与えられ、適宜参加をしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○		・今後交流の機会の場を設けられるよう検討は行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		子ども部会への出席をしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時に、その日の状況をしっかり説明する。 ・送迎時や保護者連絡にて、情報の発信・共有を実施。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		・今後外部講師を招き、ペアレントトレーニングの研修機会を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	○	・送迎時やLINEにて連絡を受付、適宜対応しています。	・保護者から相談の連絡があった際は全職員に共有しています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	○		・現在実施できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・オープンチャットを活用し、連絡事項や行事予定の配布を行っている。 ・Instagramにて情報の発信を定期的に実施。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	・イベント等で今後実施を検討している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に、活動として避難訓練等を取り入れてる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬の際は職員にて保管。服薬時に渡し服薬時間等の記録もとっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギー調査票を配布している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・全職員で再発防止検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	○		・現在対象者なし。	